

# 福知山市 下水道ビジョンの策定にあたって

- 1 策定の趣旨
- 2 下水道ビジョンの位置付け



福知山終末処理場

# 福知山市下水道ビジョンの策定にあたって

## 1 策定の趣旨

平成 18 年 1 月 1 日に、福知山市は三和町、夜久野町、大江町と合併し、新しい「福知山市」として誕生しました。

現在、本市の下水道等事業は、公共下水道で、3 処理区（福知山、三和、大江中部）3 処理場、農業集落排水事業で、21 地区（旧福知山市 7、三和町 3（簡易排水事業の 1 地区含む）、夜久野町 7、大江町 4）21 処理場を有するまでになりました。

これら事業に合併処理浄化槽事業を併せ、鋭意水洗化普及に努めた結果、水洗化事業全体での汚水処理人口普及率は平成 20 年度末で 97.5%となっています。

このように、水洗化普及が概成したと言える本市の下水道事業は、これまでの普及拡大の時代から、いよいよ本格的な維持管理の時代を迎える事となります。

このような中、社会においては、少子高齢化・人口減少の進展や住民ニーズの多様化、地方分権の進展、地球温暖化をはじめとする環境問題の顕在化など、様々な変化が見られます。

下水道事業においても、水洗化普及や浸水対策にとどまらず、下水道資源の有効活用や地球温暖化対策など、様々な役割が求められるようになっていきます。

したがって、維持管理の時代を迎えた本市の下水道ですが、これまでに蓄積してきた施設の維持管理だけに止まらず、今日の様々な課題の解決に向かって、積極的に取り組んでいく必要があります。

また、下水道事業は、本市の厳しい財政状況や施設の老朽化などを受け、より一層、効率的な経営をすることが必要となっています。

このため、今後の事業目標や運営の方針を明確にし、時代に応じた適切な施策を進めるとともに、事業を透明化し、効果的・効率的な事業運営を行うため、取り組むべき課題や施策を示した基本計画として、「福知山市下水道ビジョン」を策定するものです。

## 2 下水道ビジョンの位置付け

福知山市では、平成 20 年 3 月に『第 4 次福知山市総合計画～新時代・北近畿をリードする創造性あふれるまち～』を策定しました。ここでは、「人・地域・自然を未来につなぐ」を、計画推進のキーワードに、平成 27 年度（2015 年）を目標年次としたまちづくりを進めることとしています。

下水道事業をはじめとする水洗化事業では、「人と自然が共生する安心・安全・快適環境のまちづくり」という基本方針のもと、快適な生活環境の提供とともに、公共用水域の水質改善、市街地などの浸水対策や効果的な施設管理が求められています。

また、平成 18 年 1 月 1 日に 1 市 3 町が合併して誕生した本市は、それぞれの地域に、それぞれの歴史を持つ多様な下水道等施設を有しています。

このような背景のもと、『第 4 次福知山市総合計画』との整合を図りつつ、これまでの各種事業の歴史や特徴を活かしつつ、市の全体を見据えた総合的な施策展開を図るため、今後 10 年間の下水道事業の方向性と目標を掲げた『福知山市下水道ビジョン』を策定するものです。

